

2018年度 第13回 安全管理部会 安全研修会実施内容

作成:平成30年11月25日 野村 祐一

1. 日 時 : 平成30年11月8日(木) 13:30 ~ 16:30
2. 場 所 : 白石食品工業株式会社 仙台工場(宮城県黒川郡大和町吉岡字雷神7-1)
3. 参加者 : 18名
4. 担当員 : 司会進行 若松 隆 (株ユアテック)
意見交換会リーダー 引地 元 (株国本)
意見交換会サブリーダー 野村 祐一 (日進工具株)

5. 実施内容

(1) 安全研修会

a. 挨拶

*安全管理部会 部会長 青沼 美鶴

本日、第13回目の研修会になります。その前に先日行われました地区産業安全衛生大会では、多数の参加者と協力してくれたスタッフの多さに、「安全」に対する意識の高さを感じました。さて、前回東北イノアック様で開催されました研修会は大変有意義なものでした。本日も有意義な研修会にしたいと思いますので、宜しくお願いします。働き方改革についても各社準備している事と思います。目的は、従業員のモチベーションを向上させようというものです。各社情報交換しながら、進めてほしいと思います。最後に、日ごと寒くなってきましたので、凍結による転倒防止対策なども早めに行なっていただきたいと思います。



青沼部会長 挨拶

*古川労働基準監督署 塩沼安全衛生課長 様



塩沼課長様 ご挨拶

労働基準協会や企業様におかれましては、日頃よりご理解とご協力をいただき、大変感謝しております(以下、配布された『監督署だより』についての説明)

- ・労災発生状況について
既に配布済みの死亡災害に対するチェックシートを活用していただきたい。
- ・実は駐車場での転倒による怪我が多い。これから冬場になるので、特に注意が必要です。
- ・ヘルメット着用の習慣化と、用途によって正しく選定していただきたい。
- ・時間外労働の基準変更について(労基法一部改正)
今日の見学後も安全について、是非討議してほしいと思います。

b. 白石食品工業株式会社様 ご挨拶および会社概要説明

*ご挨拶 仙台工場長 田野井 和也 様

本日はご足労頂き、有難うございます。この後総務課より会社概要の説明をしますが、私の方から掻い摘んでご説明申し上げます。

- ・工場は仙台と盛岡で2箇所あり、社員は全体で900名
その内仙台工場は310名、内製造は235名おります。
- ・リスクアセスメントは月1回実施、食品だけでなく社員の安全にも心掛けています。

工場見学の際は手洗いを2度行ないます。その辺も含めて、我々の安全への取り組みをご覧いただければと思います。



田野井工場長様 ご挨拶

*会社概要説明 総務部総務課 松崎 亨悦 様

- ・当工場では、従業員310名の内、約半数がパート社員。外国人従業員も30名おります。
- ・パンを食べながらアイデアを出し合ったりするなど、社内コミュニケーションにも貢献しています。
- ・新商品開発は、起案から販売まで約5カ月かかっております。
- ・現場では手袋をしています。手袋も汚れるので手袋の上から衛生検査をしています。
- ・会社として経営だけではなく、6つのプロジェクトに分けて取り組んでいます。
(経営計画、消費者調査、業務効率化、人財共育、働くみんなの幸せ、ブランディングプロジェクト)



総務部総務課 松崎様 ご説明



生産管理課次長 石川様 ご説明

*安全関係説明 生産管理課次長 石川 毅 様

- ・安全衛生管理年間計画を作成、運用しています。目標は無災害継続1,055日！（H31.3.31まで）
現在無災害911日間達成中
- ・安全衛生管理組織の説明
労災ゼロに向けて担当者が「安全一言」を決めて、周知する取り組みをしています。
- ・毎月第4木曜日はリスクアセスメント記録表をチェックしています。
- ・ヒヤリハット記入用紙の活用を図っています。（パートや主任、営業も含む）
係長が回収し事務局でとりまとめ、リスクの高さから優先順位を付けており、対策も講じています。
- ・安全作業手順進捗表を確認し、計画が1カ月以上遅れると赤で塗りつぶしなどの管理をしています。
- ・入社5年以下の従業員を対象に安全教育として、労働災害の擬似体験を行なっています。
「手」を模した模型を自作し、巻き込みや挟まれ災害を擬似体験しております。

c.白石食品工業(株)様工場見学を実施

4名編成のグループに別れ、作業工程や安全対策状況等を丁寧に説明いただきました。



視察に際し、衛生服へ着替え



視察状況

(2)意見交換会 質問事項と回答内容(要旨)

*引地リーダー挨拶

施設見学、お疲れ様でした。
意見交換会を開催します。忌憚無くご意見やご質問をお願いします。

*意見交換会 質問事項と回答内容(要旨)

- Q. 人材育成の「人材」とはどういう意味か
- A. 職場を良くするも悪くするも全ては人なので、
そういう使い方をしています。
新入社員教育では、課題提供による教育も実施
- Q. 脚立や安全帯はどこに置いてるのか
- A. 2m以上の作業をする際、着用を徹底している
ので、決められた場所に常備してある。
フルハーネスの導入検討中です。
- Q. ラックの積み重ね高さ基準はあるか
- A. 特に基準はありません。
- Q. 台車に積み上げられたラックが、台車の高さ以上に積み重なっていたので、注意したい方が良いのでは
- A. ご指摘有難うございます。
- Q. 衛生管理者を2名にしている理由はなんですか
- A. 業務が忙しい為、分担している。ちなみに資格保持者は4名います。
(補足：従業員が200名以上の事業所では2名必要。安全管理者は1名必要)



意見交換進行 引地リーダー、野村サブリーダー



意見交換会状況(1)



ご回答いただきました白石食品工業の皆さん

- (感想) ヒヤリハット報告書の活動は素晴らしい。
特に「では、あなたはどうしたいのか」の問いかけが素晴らしい。是非参考にさせてほしい。
- (感想) 衛生環境が良い反面、機械事故の可能性が高くて大変そうだと感じた。
- (感想) 自社と異なり、食品はお客様の喜ぶ顔が浮かぶのが羨ましい。
従業員のモチベーションにつながる。
衛生面も手洗い時間に基準を設けたり、社員さん達の挨拶も良かった。

* 古川労働基準監督署 塩沼安全衛生課長様よりアドバイス

本日の工場見学は多くのスタッフによりご対応していただき、有難うございました。
床が滑りやすい・転倒注意の表記や、掃除用具の収納状態も大変良かった。
その他、作業姿勢では腰痛防止対策を考慮願いたい。脚立がグラつく物もあったので、点検してみた方が良いでしょう。宜しくお願いします。

6. 総評 宮城労働基準協会 古川支部 事務局長 櫻井秀雄様

先日開催された大崎市産業安全衛生大会では、280名の参加者がありました。ご協力有難うございました。
古川支部長賞を受賞された方々もおめでとうございました。
本日は、品質管理や安全衛生に対して、いろいろと勉強させてもらいました。
皆さんも是非職場に戻って有効活用していただきたいと思います。本日は誠にありがとうございました。



塩沼課長様 アドバイス

- Q. 「働くみんなの幸せプロジェクト」とは？
A. 利益は会社だけでなく、従業員へも還元する！福利厚生などを充実させる取り組みです。
- Q. 従業員での改善などへの仕組みはあるか
A. 6つのプロジェクトによる意見を出し合うなど
- Q. 赤チン災害とはどんなものがあるのか
A. コピー用紙の裁断作業時や、コンベアに触れて裂傷するなど、指先の怪我です。
- Q. 職場でのコミュニケーションはどうしてるのか
A. 管理者から作業員への声かけ、体調確認などその他、従業員・パート同士も会話はしています。
- Q. 床の清掃頻度はどれくらいか
A. 毎日掃除は実施しています。ロット切替時など、空いた時間があれば掃除しています。
- Q. 新製品は年間どれくらい発売するのか
A. 月に16件くらい企画されるが、採用されるのは8件くらい。でも2ヶ月くらいで消えてしまうのがほとんどです。ロングヒット商品はあまりありません。今も5点くらいしかありません。



意見交換会状況(2)



櫻井事務局長様 総評